

法第 42 条	ガケや水路がある場合の法 42 条第 2 項の道路後退線の取扱い	A9606
---------	----------------------------------	-------

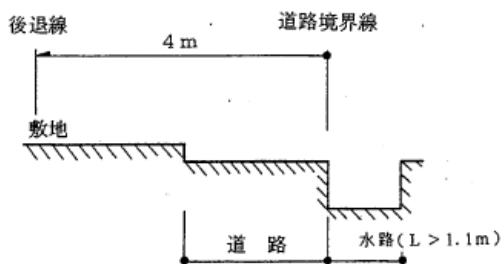
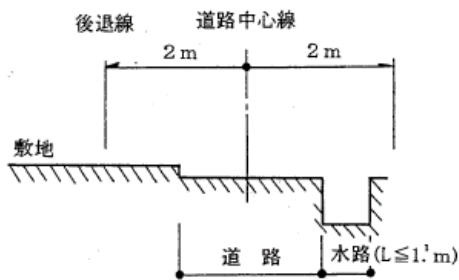
幅員 4m未滿の道で特定行政庁が指定したものは道路と見なされ、その道路の中心から 2m後退した線が道路境界線となるが、道路の反対側にガケや水路がある場合は、基本的にはそのガケの高さが 2m、水路の幅員が 1.1mを基準として下図のとおり取り扱う。

ただし、一つの路線で判断したとき又は現地の状況等によっては、この限りではない。

[道路の片側に水路がある場合]

① $L \leq 1.1$ m の場合：中心後退

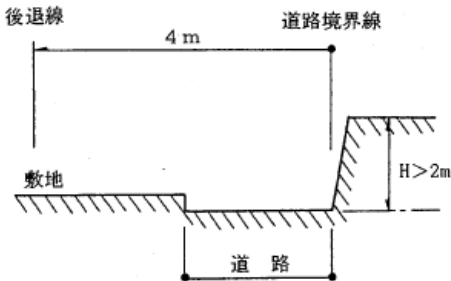
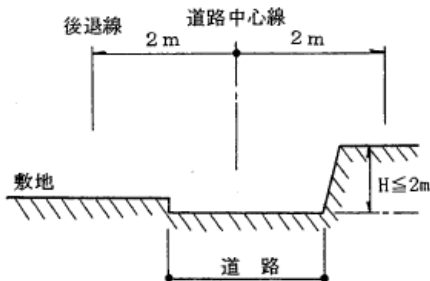
② $L > 1.1$ m の場合：一方後退



[道路の片側に崖がある場合]

① $H \leq 2$ m の場合：中心後退

② $H > 2$ m の場合：一方後退



[道路の両側に崖 ($H > 2$ m) がある場合：中心後退]

